



9月議会(定例会)

H28.9.2~H28.9.28

主な議案等の概要と審議結果は次の通りです。

◆ 一般会計補正予算の専決処分 ➡ 承認

7月12日の深夜から翌未明にかけて発生した豪雨災害による災害復旧工事のうち、緊急に対処する必要が生じた道路・河川の土砂・倒木等の搬出、崩落した法面の復旧に伴う設計監理業務及び復旧工事、その他緊急を要する防災工事などの費用1,273万7千円を追加。

◆ 一般会計補正予算 ➡ 可決

歳入歳出それぞれ6億1,679万3千円を追加し、総額を239億1,364万9千円とするもの。

2億5,000万円	公共施設整備基金積立金	}	①	770万円	ふるさと納税関連業務(委託料他)
1億5,000万円	財政調整資金積立金			600万円	過誤納付金還付金
5,000万円	地域福祉基金積立金			600万円	木造戸建て住宅耐震改修補助金
3,883万円	落合橋交差点信号設置②			450万円	太宰府西中トイレ改修工事(設計監理等委託料)
1,900万円	災害復旧費③			297万円	児童福祉施設(電算委託料)
1,844万円	水城西小学校仮設校舎設置工事④			248万円	生活道路改良
1,543万円	シルバー人材センター移転関連⑤			177万円	障がい者地域生活支援(訪問入浴委託料)
1,485万円	観光事業推進⑥			31万円	寄附による図書購入
1,100万円	スポーツ施設管理運営費・臨時工事⑦			17万円	太宰府の歴史と文化を学ぶ副読本英語版
860万円	林業用施設整備(補修工事他)			16万円	農業用施設整備(修繕料)
854万円	ICT推進費(システム委託料他)				

[金額順/千円未満切捨表示]

財源内訳 一般財源5億6,880万(92.2%) + 国県支出金 2,133万(3.5%) + 地方債1,900万(3.1%) + その他764万(1.2%)

- ① 平成27年度決算における剰余金を財源としてそれぞれ計上
- ② 総合体育館の11月オープンに向け落合橋交差点の安全対策について、県警と協議を行ってきたが、信号機(アーチ式)設置の協議が整ったので設置工事費と管理設計業務費を追加計上
- ③ 豪雨災害に伴う大佐野地内法面及び四王寺林道法面復旧工事費
- ④ 水城西小学校の児童数の増加に伴い教室の不足が見込まれることから仮設校舎を建設するための設計・監理業務委託費や関連工事費(エレベーター設置含む)
- ⑤ 都府楼団地内『JR市の上踏切』の拡幅及び道路改良事業に伴う、シルバー人材センター建物の移転関係に伴う設計等委託料
- ⑥ 歴史と文化の環境整備事業として、史跡地ライトアップ照明器具等の備品購入費や、史跡地でのWiFi整備事業費の追加
- ⑦ 総合体育館敷地内の旧包括支援センター事務室の間仕切り工事

◆ 介護保険事業特別会計補正予算 ➡ 可決

保険事業勘定に5,852万1千円を追加し、予算総額を47億9,974万2千円とするもの。主な内容は平成27年度の国庫、県費支出金及び支払基金交付金の確定による介護給付費負担金及び地域支援事業交付金等の精算返還3,504万円など。

◆ 返済不要の給付型奨学金の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書 ➡ 可決

◆ 教職員定数改善、義務教育費国庫負担拡充を求める意見書 ➡ 可決

◆ 平成27年度各会計の決算認定 ➡ 認定

平成27年度の各会計別決算状況(単位:千円)

区分	一般会計	国民健康 保険事業	後期高齢 者医療	介護保険事業			住宅新築資金 等貸付事業	筑紫地区障害支援 区分等審査会事業
				保険事業勘定	介護サービス 事業勘定	筑紫地区介護認 定審査会事業		
歳入総額	25,525,691	8,867,341	1,141,949	4,593,738	44,857	95,751	11,901	10,320
歳出総額	24,019,939	9,566,240	1,085,890	4,538,319	25,654	95,751	1,591	10,320
歳入歳出差額	1,505,752	△698,899	56,059	55,419	19,203	0	10,310	0
翌年度へ繰り越すべき財源	849,561	0	0	0	0	0	0	0
実質収支額	656,191	△698,899	56,059	55,419	19,203	0	10,310	0

一般質問(概要) ※2項目について質問しました

◆ ICT推進と情報公開について

Q:門田 市のホームページが新しくなりましたが、改善点を伺います。

A:市長 本市のホームページについては閲覧者から情報が探しにくいのご意見があり、旧システムの保守期限が切れたことに伴い見直しを行いました。主な変更点はトップページに扉を設けることで利用者の目的に応じた内容をいち早く閲覧できるようにしたほか、レイアウトは全体的にすっきりとしたイメージとさせることで見やすく分りやすいように心がけました。まだ調整等必要な分もあります。今後さらに利用しやすいホームページにしたいと考えております。

Q:門田 内容を確認しましたが市政情報の発信が十分でないと感じます。各種計画や議会審議の結果等は積極的に、またわかりやく公開するべきと考えますがご所見を伺います。

A:部長 ご指摘のように市政情報について発信が十分でないところもございます。総合的に全てのことを再点検して、その他不備なところも合わせて改善してまいりたいと考えております。

Q:門田 本市では情報技術に関する責任者が明確ではありません。ICT関係に詳しく、やる気のある職員を集めた専門部署を設けてはどうでしょうか。

A:副市長 今は文書情報課で推進しています。詳しい職員がいるのでそこも考慮して経験、技術を積んでできるだけ期待に応えるような方向で前向きに考えていきたいと思っています。

【補足】リニューアルしたばかりですが利用者の声を十分に取り入れていただきたい。また情報化の推進を受身ではなく主体的に行うためにもICT推進担当部署の設置は必要と考えます。

◆ 手話言語条例の制定について

Q:門田 手話を言語として位置づけ普及をめざす手話言語条例の制定が各地で進んでおり、制定自治体では様々な取り組みが行われています。本市での条例制定について伺います。

A:市長 現在条例を制定している地方公共団体は県レベルを含めて全国で52団体ほどあり、福岡県内ではまだ条例を制定している市町村はございません。このようななか本市といたしましては現在のところ条例制定までは考えが至っておりませんが今後の福岡県や近隣市町の動向に注意し適切に対応していきたいと考えております。

【補足】障害者差別解消法が4月に施行され、国は自治体に地域の障害者や福祉、商工団体などと連携した障害者差別解消支援地域協議会の設置を促していますが、本市にはまだ設置されていません。現在筑紫地区4市1町で協議中であるとの回答でしたが単独でも進めるべきです。質疑では先進自治体の取り組みを紹介しながら、スマホ用の手話動画を活用することなどを提案しました。

詳しくはホームページをご覧ください → f-icq.com または

門田直樹 検索

議会報告会 門田なおき後援会主催

日時:10/25(火)午後6時～ 会場:国分公民館2階 ※約1時間